

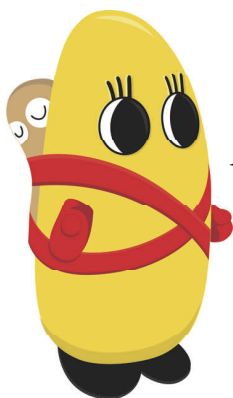
まさる ひごろ えいが す えいが
勝は日頃から映画が好きで、たくさんの映画を見ており、
その音楽に興味を持っていましたが、この道に進もうと思っ
たのは昭和25年(1950)の夏のことです。

そつぎょう ききょう
卒業を来年にひかえて留萌に帰郷しました。しかし、家は
だんだんとまず貧しくなり、仕送りに頼ることなく自分で生計を
立てて行かなければならなくなっていました。

かせ ふるさと
それで、もう自分で稼いで故郷に帰れるようになるまで、
留萌に帰らないと心に決め、東京に引き返しました。

うえの けっこん たかはしち え こ むか
上野には後に結婚する高橋千恵子が迎えに来ていました。

ち え こ いっしょ くるさわあきらかんとく らしょうもん
その時、千恵子と一緒に見たのが黒沢明監督の『羅生門』と
えいが はやさかふみ お えいが
いう映画でした。音楽が早坂文雄で、その音楽に感動し、映画
音楽の素晴らしさを認識したのです。



えいが きょうみ
映画音楽への興味を
もったんだMO～。